

# 鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ

# 南稜通信

第5号

平成 23 年  
2 月発行  
長野南高校

問い合わせ先  
教頭 羽場 謙一  
庶務 竹内祐美子  
TEL026-284-8850  
(学校代表)  
TEL026-284-8851  
(教務室)

## 学食 茶鍋和統

冒頭の題は、仏教詩人坂村真民の詩の一節です。このあと「怒涛の海を飛び行く鳥のように」と続きます。人が人らしく生きるためには、真民が詠ったように「生きねばならぬ」という強い意思が必要で、多くの中学生の皆さんが、義務教育を終えてもなお高校進学を望み、各校の学力検査に挑戦したのも、そのような意思があつたことだと思えます。本校でも、そのような意思を持った多くの皆さんを、この四月から生徒として迎えることができることは大きな喜びです。

さて、これまでの皆さんの義務教育九年間の学びは、先人の知識をしっかりと学び取ることだったと思えます。このよきな学びを、仏教では聞慧(もんえ)と言いますが、高校でも同じ姿勢で取り組むようにお願いします。本校は普通科ですから、基本的には中学校と同じ教科・科目を学ぶこととなりますが、そのための授業は、聞慧の段階にある者にとつて、これまでと同様にとつても大切な時間となります。もし授業に参加しようとしていない人、あるいは私語などで授業を妨げるような人は、学校での最も価値ある時間を無にする者として、教室に留まることは許されません。

また知識を学ぶこととは別に、皆さんは人として良い人になることが求められます。例えば、公共心・公正さ・協力する心などを養うことです。また人に対する優しさ、正直さもさらに磨く必要があります。学校はそのための機会を多く用意しています。文化祭や修学旅行、文科系・体育系のそれぞれの部活動、さらに読書や清掃など、日々のあらゆる行いが良い人となるために意味あるものとして存在しています。皆さんは知識を学ぶことと、良い人になることに意義を見出す人になって欲しいと思います。ただ注意しなくてはいけないことがあります。それは、皆さんには若さが持つ未熟さゆえに「直接的な人間の欲望に制圧される危うさ」(和辻哲郎)があるということです。この事をしっかりと心に留めて、自らを迷いに誘い込む刺激や誘惑を用心深く避ける賢明さが必要です。すでにそのような刺激や誘惑に耳を傾けている人がいれば、一日でも早く正しい道に戻ることをお勧めします。

春はすべての木々が芽吹く祝福の季節です。皆さんも中学校を卒業し、芽吹きの時節を迎えます。その芽が無用な刺激や誘惑によって黒々と腐り朽ち果てることのないように願っています。本校の校門は「鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ」との思いに至り、「知の道」と「人の道」を自ら望んで歩もうとする人には常に開かれています。



## 地域活動に積極的に参加を

平成二十二年十二月十四日に第四回民生児童委員・学校評議員と生徒会執行委員との懇談会がありました。今回参加し、普段地域の方が思っている様々な意見やその意見について詳しく話し合うことができて、とても有意義な会になったと思えました。



活発に意見が出された懇談会

副会長 麻場雅斗(篠ノ井東中卒)



## 生徒会役員の発表に耳を傾ける本校生徒(手前)

交通ルールが守られていないなど悪いところもいくつかあり、地域の人にもっと良い印象をもってもらえる存在になっていけるように頑張つて長野南高校を変えていきたいと思えました。

今回の懇談会は、今の長野南高校をより良くしていくための参考になる意見をたくさん得ることができ、とても充実した会でした。

# 二年生進路決定者 2 名の声

就職氷河期と言われ、内定率が五割を切る中、私は中部電力株式会社から内定を頂くことができました。振り返ると、高校二年から三年の夏までが一番勉強した時期だったと、私は思います。

私は、高校入学後から、この先どんな人生を送っていくのかと意識しはじめ、大学や専門学校へ進学するか、あるいは就職するのがいいのか真剣に悩みました。しかし、よくよく考えてみると、大学へ進学しても学びたいと思う対象がないことに気づきました。そして、専門学校へ進学しても、希望する企業へ就職ができるのが不安になりました。たどりついた結論は、自立して社会に貢献することが、何よりの親孝行なのではないかと思ひ、就職する道を選択しました。

早速、書店に行つて、就職に関する参考書を買ひ求めました。そうして一心不乱に多くの問題を解き、必要な知識をひたすら頭の中に叩き込みました。就職試験に向けて私の勉強量は、誰にも負けていかなかったと思ひます。

## 私の千九百十五日

一方、校長先生をはじめ、多くの先生方に放課後の面接指導をして頂きました。何より進路係の先生方の献身的なバックアップのお陰で内定を頂くことができたと思ひます。先生方や沢山の仲間、そして温かく見守つてくれた家族に支えられ、今の自分があることに心から感謝したいと思ひます。

来春から社会人になる期待や不安があります。地球の未来を考えて行動する社員となつて、多くの社会貢献ができるように努力したいと思ひます。

私はこの言葉を胸に三年間を歩んできました。その結果が高崎経済大学入学への大きな一歩となったことは間違いありません。私が推薦で受験をする上で最も重要だと思

っているのが自分に自信を持つということです。この自信は日々努力し、数多くの武器を身につけることによつて得ることが出来ます。

## 努力は人を裏切らない

私の場合は、一年の頃から努力してきたテストに裏付けされた評定が最大の武器でした。また私は、誰よりも面接や小論文の練習をしました。分らないことや気になることがあれば、納得がいくまで調べ知識という一つの武器にしました。自分で興味を持ったこと、やった方が良いと思つたことは即、行動に移しました。地元松代の歴史的ボランティアへの参加や、松代、小布施の観光や地域政策に携わつている方々のお話をお聞きしました。このように数々の努力によつて裏付けされた大きな自信で私はプレッシャーを感じることなく受験を終えることができました。

私がこの数多くのことを行つてきた途中、心の中で幾度となく繰り返されてきた「努力は人を裏切らない」という言葉これが一番の心の支えであり、今回、それが真実であると確信することができました。しかしそれは並大抵の努力では意味がないと思ひます。自身に自信を持てるくらいに努力しなければいけないのです。これは受験に限らず、生きていく上で絶対に必要です。私もこの受験で培つてきた努力や自信を胸に、これからの大

### 恋の五七五

- ・肩ちよんちよん 心は素直 赤もみじ
- ・強くなる 君と離れて 決めたこと
- ・遠くても 想いつながる 青い空
- ・ときめいて 目があうだけで うれしくて
- ・冬までに 届けてほしい この気持ち
- ・我が眼 追ひし貴方は 誰を追ふ

### 追試だけは嫌だから勉強を

今年の秋は・・・ちよつと勉強したいですかね。芸術もスポーツも、楽しい読書もおいしい食べ物も、我慢まではいきませんが、ちよつと待ったをかけるのです。高校2年生になつていよいよ授業がわかなくなつてきました。数学期は「領域」とか「境界」とか。日本史なんかは藤原さんが多すぎて覚えられないし。テストが返つてきて、こ

れじゃいけないと思ひました。さすがに僕もあんなひどいテスト初めてだったんだ。特に数学ね。思わずダストボックスを探しました。結局、捨てませんでした。そんな勇気ないよ。この秋で僕は生まれ変わります。

といいますが、生まれ変わらないうと。追試だけは嫌なんだ。この秋は勉強をがんばつて、残りの時間で読書とか十七歳の秋を楽しめたらいいな、と思ひます。

## 部活報告

### アーチエリー

新人戦全国大会出場 (神林 かなえ)

### 男子ハンドボール

第三十四回高等学校ハンドボール選抜大会 優勝  
北信越出場

### バスケットボール

第三十三回更埴地区高校新人バスケットボール大会  
男子 第一位  
女子 第一位



ご声援ありがとうございました

